

チームやまて！！

秋風を感じる頃となりました。子どもたちは、虫とりや草花、野菜を使ったまごとりやリレー等友達や先生と心を弾ませて遊んでいます。

虫ハウス

わが園に「虫ハウス」があったことをご存じですか。3歳児の保育室の間に、テントを立て周りをネットで囲んでいました。虫とりを楽しんだ後には、虫をハウスの中に放ち子どもたちもハウスの中に入って、捕まえたり虫の動きを楽しんだりしていました。飼育ケースの中に入れて虫を観察することもよいのですが、虫ハウスに入って虫の動きを楽しんだり、捕まえたりする楽しさは、子どもたちの心を躍らせます。また、「名前は何?」「何を食べるの?」というようなことに好奇心を抱きます。幼稚園では、「知りたい」「不思議」「面白い」などの感情を大切に、保育をしています。

☆ もっと知りたい! ☆ ～4歳児の学年通信より抜粋～

そら・ほしタイムで、スズムシの様子を大型テレビで見ました。子どもたちは、スズムシが鳴く様子を見て、「羽が大きい」「羽がびよ～んってなってる」と言ったり、ナスを食べる様子を見て、「おしゃおしゃ食べてる」「どうしてナスが好きなんかな?」等と、気付いたことや感じたことをロタに言いました。

その後、保育室で飼育しているキリギリスを見て、A君が「キリギリスが鳴いているよ」と言ったので、教師がビデオカメラで撮影し、大きくして、大型テレビで見ました。すると、「なんか(羽)動いてる」「中がぴかっていた」とロタに言いました。何が動いているのか、何が光っているのかを知りたいという子どもたちの気持ちを受け、教師がインターネットで調べたものを翌日、そら・ほしタイムで見せました。

子どもたちの「もっと知りたい」「不思議だな」「なんだろう」という気持ちを大切にしたいと思っています。また、幼稚園にある図鑑では調べることができないようなことも、インターネットを使って子どもたちに見せていきたいと思っています。そうすることで、子どもたちが身近な生き物への関心を高めていきたいと思えます。



心を弾ませて

自由参加日にご覧いただいた保護者の方もおられますが、運動会に向けての活動を少しずつ始めました。幼稚園の運動会は、子ども達が「やりたい」「楽しい」「見てほしい」というワクワクした思いを抱くことを大切にしています。そのためには、担任たちは様々な仕掛けを施し、運動会に向けての活動をしています。3歳児の担任は、幼児が「4・5歳児のようにやりたい!」という思いが表れるまで待ちます。4歳児の担任は、5歳児の姿を幼児に見せ「私たちもやる!やりたい!」と思えるよう5歳児の頑張っている姿を応援したり、真似たりして4歳児の心を揺さぶります。そして、5歳児の担任は、3・4歳児が5歳児の姿を見て「かっこいい!」「素敵」としてもらえよう、友達と先生と気持ちを合わせて取り組んでいます。どの学年も「心を弾ませて☆彡」をキーワードに、運動会に向けて取り組んでいきます。そのためには、子どもたちの生活リズム「早寝・早起き・朝ごはん」にご家庭では心掛けていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。



山手小の業間の時間に、小学生とリレーを楽しんでいます。終わりのチャイムが鳴ると「また、明日ね」と小学生は学校に帰っていきます。小学生と競うことで幼児は、「小学生に勝ちたい!」と闘争心が芽生えてきます。児童と幼児が主体的に関わることができる山手小・幼の立地に感謝する毎日です。



小学生と競走をしていると、幼児の走るスピードが速くなるんですよ♡